

# 令和元年 障害特性に関する研修会②

## 「重複障害のある児童生徒の特性と支援について学ぶ」

- 期 日 令和元年8月26日（月）10：00～12：00
- 目 的 重度重複障害を有する児童生徒に対して、主体的に学習に取り組む態度を養うための支援方法や授業づくりについて学び理解を深め、指導力及び専門性の向上を図る。
- 講 師 広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座  
専任講師 船橋 篤彦 氏
- 内 容 講演重複障害のある児童生徒の特性と支援について学ぶ  
～指導と評価の一体化に向けて

広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座から船橋篤彦先生をお迎えして重複障害に関する研修会を行いました。この研修会では、主体的な学びについて、重複の児童生徒の関心を引き、興味を育て自発的な動きを導く授業づくりの視点や、指導と評価の一体化に向けての内容で講演をしていただきました。また演習もおりまぜながら対話的で深い学びの研修会となりました。

### 研修会の内容

#### 1 重複障害の特性について

- 重度・重複障害児の分類
- 重度・重複障害児の定義
  - ・子どもの（初期の）発達について～暮らしの中で育つ礎
  - ・欲求－要求－自己調整の道筋
- 重複障害者の発達の基盤
  - ・因果関係の理解 ・因果関係をよりよく学ぶ
  - ・エピソード記憶エピソード記憶 ・原点回帰：「学習環境を整える」

#### 2 重複障害者の（教育）支援

- （重度）重複障害の児童生徒の実態
  - ・演習2：考えてみましょう ・「姿勢」「動き」に注目する
  - ・手段として座る・座ることは疲れる ・指導目標を導き出すモデル
  - ・重度重複の児童事例 ・課題関連図 例 指導仮説
  - ・コミュニケーションに関するプロフィール表  
福山特別支援学校 重度重複障害児のチェックリスト

#### 3 指導と評価の一体化に向けて

- 多様な評価方法の例
  - ・パフォーマンス評価 ルーブリック評価 ポートフォリオ評価
  - ・学びを捉える視点 ・「ルーブリック評価」の活用

